

ホースブリッジの裏面を利用した表示板の考案 について

横浜市消防局（神奈川）

小沼 義典

山口 朝己

重光 晶

1 改良前名称

ホースブリッジ

2 作品名

スーパーハイブリット ホースブリッジ

3 改良点

- (1) ホースブリッジの利用方法として、“立てて使う”方法を考えました。
- (2) ホースブリッジの裏面を利用して案内板及び表示板を作製するため、安価で使用しやすく、早期に設置することにより安全の確保も素早くできます。

4 使用例

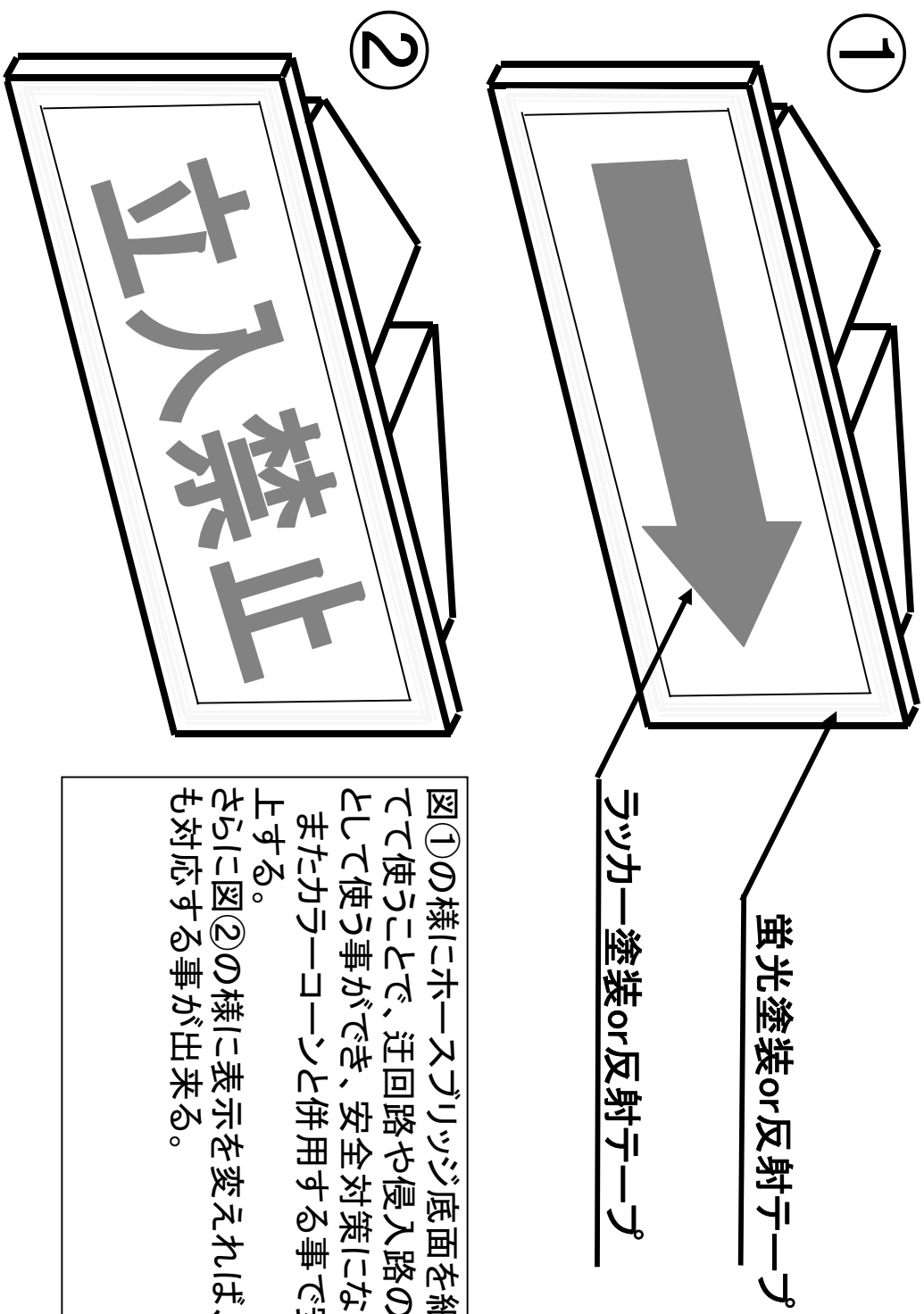
- (1) 一時的に車両を停める時に車両後方に置く。
- (2) 消火栓を開けて作業を行う時に置く。
- (3) 進入統制ラインを設置する時に置く。
- (4) 事故車両の付近の迂回路表示として置く。

など簡易的に多くの使い道があります。

※配置されている資機材のため、コストが安くかつ、ゴム製のため水に強いのも特徴です。

5 作製方法

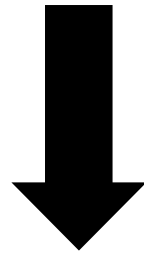
ホースブリッジの裏面に反射テープ又は蛍光塗料を縁取りし、ラッカースプレー等で表示したい内容を表示します。



図①の様にホースブリッジ底面を細工して、立てて使うことで、迂回路や侵入路の指示表示板として使う事ができ、安全対策になる。
またカラーコーンと併用する事で安全性も向上する。
さらに図②の様に表示を変えれば、いかなうにも対応する事が出来る。



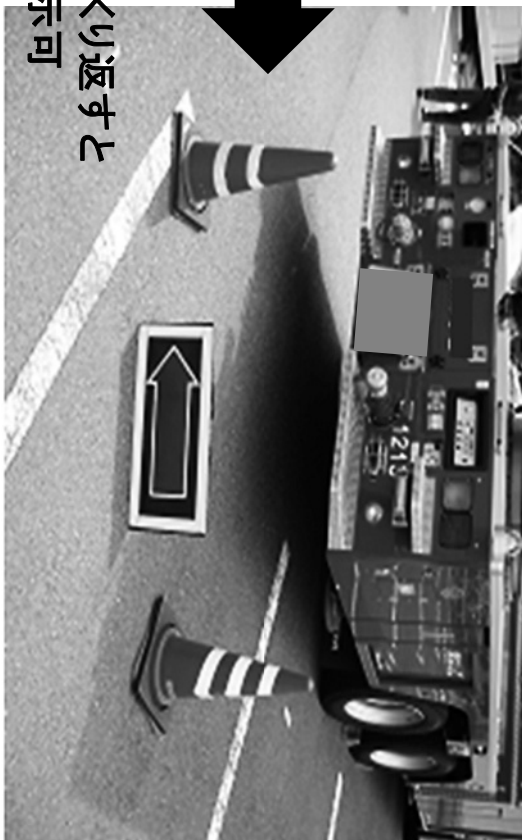
※ このように立てる。



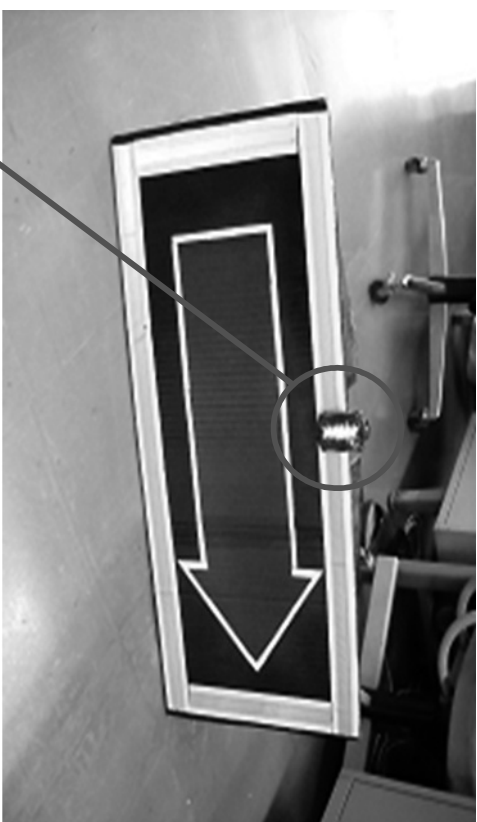
使用例①



※上下ひっくり返すと
左右とも表示可



使用例②



※この様に市販の赤色灯を着けると注意
効果も上がる

搬送方法



※折り畳みでの搬送が可能

転倒防止策

固定方法例

※ホースグリッジに重量があるため転倒しにくい、転倒防止方法として積載している資機材を使い、後方に倒れない様にする事で更に頑丈になる。(例 65mmホース等)

